

## 第1章 香川大学学生生活実態調査について

### (1) 調査の目的

香川大学学生生活実態調査は、香川大学の学生がどのような条件のもとで、どのような意識をもって学生生活を営んでいるのかといった、学生生活の実態を把握し、大学の諸施策の基礎的資料として活用することを目的としています。この調査は、1986年（昭和61年）の第1回以来これまでに12回実施されており、それぞれ報告書にまとめられています。

第1回調査	1986年（昭和61年）	第2回調査	1989年（平成元年）
第3回調査	1992年（平成4年）	第4回調査	1994年（平成6年）
第5回調査	1996年（平成8年）	第6回調査	1998年（平成10年）
第7回調査	2000年（平成12年）	第8回調査	2002年（平成14年）
第9回調査	2004年（平成16年）	第10回調査	2006年（平成18年）
第11回調査	2008年（平成20年）	第12回調査	2009年（平成21年）

この調査は、第1回から第3回まではおおむね3年ごとに実施してきましたが、社会人入学、外国人留学生の増加等多様化する学生や、急速に変化する大学の教育環境を明確に把握するため、第4回からは、2年ごとに実施することとしました。第11回から毎年実施することになりましたが、第12回から従来の2年に一回に戻すことになりました。

調査内容についても、経済状況などの基礎的な調査に加えて、その時々におけるトピックス的なテーマに関する調査を実施しています。

今回（第13回）は、トピックス的なテーマに関する調査として、前回に引き続き、国際交流に関する調査を実施しました、但し、質問内容については見直しを行うことになりました。

### (2) 調査実施期間

平成23年10月14日～11月18日

### (3) 調査の対象と方法

調査に当たっては、ホームページまたは、教務システムから入力することとし、学部学生全員（夜間主コース学生を除く）を調査対象としました。学部別、性別の回収数、回収率は、下記に示すとおりです。

学部別、性別の回収数及び回収率

区 分		学生数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
学 部 別	教 育 学 部	880	79	9.0
	法 学 部	720	52	7.2
	経 済 学 部	1,291	77	6.0
	医学部医学科	612	28	4.6
	医学部看護学科	264	13	4.9
	工 学 部	1,212	100	8.3
	農 学 部	688	59	8.6
学部別合計		5,667	408	7.2
性 別	男 子	3,355	227	6.8
	女 子	2,312	181	7.8
性別合計		5,667	408	7.2

・法学部及び経済学部の夜間主コースの学生は除いています。

(4) 調査の内容及び項目

調査項目の設定に当たっては、経済状況などの基礎的な事項に加え、今回はトピックス事項として、国際交流に関する調査を実施しました。

設定項目は、「Ⅰ. 基本的事項について」「Ⅱ. キャンパスライフについて」「Ⅲ. 個人生活について」の3つに分類しています。その分類のもとで構成された質問内容及び質問数は、以下のとおりです。合計で78問になっています。

- Ⅰ. 基本的事項 : 属性 (4問)、通学方法 (3問)、経済状況 (3問)
- Ⅱ. キャンパスライフ : 学業 (7問)、課外活動 (5問)、  
就職 (8問)、学生のキャリア意識 (2問)、  
国際交流について (19問)
- Ⅲ. 個人生活 : 住居 (4問)、健康 (12問)、アルバイト (6問)、  
ボランティア活動 (5問)

(5) 集計と報告書の作成

入力された調査票はリアルタイムで集計を行い、ホームページで随時集計結果を確認できるようにしました。

さらに、報告書の作成に当たっては、主な調査項目について、学生生活実態調査部会構成員が分析をし、また、一目で理解できるように、質問ごとに前回との比較表をグラフで掲載しました。